

2025 年度 支部年度別運営計画書

パナソニック松愛会

支部名 北海道支部

2025年度 支部年度別運営計画書

支部長名 森崎 義和

印

		2024年度 活動総括	2025年度 活動方針
活動計画	1. 支部方針	支部活動スローガン「元気で・明るく・楽しく」 温もり、喜び合える活動の実践 ・ 高齢化会員に合わせた活動内容 ・ 参加し易い、親しみある活動にしてい	支部活動スローガン「元気で・明るく・楽しく」 温もり、喜び、支え合える支部を目指す ・ 親しみある、参加し易い活動を行う
	重点活動・施策	(1)支部大会(報告会) ◎ 二部構成の組立実施／短時間議案協議、飲食付でゲーム・脳トレクイズ・抽選会・お土産付内容 → 未参加会員の発掘、夫婦・家族・友人参画の輪を拡大 …… 機会あるごとPRするも定着までいかず ・ 「どさんこ文芸館」、「支部活動参加功劳」、「情報交換会問題当てクイズ」参加には、参加賞・優秀賞授与 ・ 隔月懇談会の内容（年6回） …… DVD鑑賞（3回）、ゲーム等脳トレクイズ（3回） …… 計画通り ・ 支部独自／春の自宅周辺クリーン活動 …… 参加報告には参加奨励賞を提供 …… 計画通り参加増傾向	・ 二部構成で、飲食付きを基本とし、余興内容に時間多く取り脳トレ・健康クイズ等会員に楽しみ喜んで貰える会に！ → 夫婦・家族等、参加の輪を広げ 又、多彩な余興を検討・採用していく
		(2)各種懇親会・イベント ・ 「どさんこ文芸館」、「支部活動参加功劳」、「情報交換会問題当てクイズ」参加には、参加賞・優秀賞授与 ・ 隔月懇談会の内容（年6回） …… DVD鑑賞（3回）、ゲーム等脳トレクイズ（3回） …… 計画通り ・ 支部独自／春の自宅周辺クリーン活動 …… 参加報告には参加奨励賞を提供 …… 計画通り参加増傾向	・ 「どさんこ文芸館」を更に充実、イベント内容は裾のを広げた企画を取り入れ、景品進呈等も併せ、参加者拡大に繋げる ・ 支部独自活動の自宅周辺春のクリーン活動 → 参加奨励賞を設け参加会員を募る ・ 基幹行事の一本化に向けた新たな発想 → 活動を絞り込み、会員に参加要請を促す
		(3)会員情報収集活動 ◎ 会員75歳以上対象者への友愛訪問継続 （対象108名／前年比16名増／占有率41％） → 対象会員好評のカレンダー提供廃止に伴い支部独自のお渡し品の継続 …… 会員の意見参考するも未実施	・ 高齢・独居会員の期末自宅訪問（見守り） → 対象75歳以上（対象127名／前年比20名増／47％） ・ 新会員との定期会合 → コミュニケーションを図り、役員なり手の環境づくりを強化していく
		(4)健康づくり ・ 歩こう会の実践 （札幌、千歳、恵庭、北広島）地域分散型を展開 …… 計画通り → 新開催地を取入れ会員の健康促進強化に努める …… 新しい地区を探し実施する	◎ 隔月懇活動前等に、 ストレッチ体操 の復活 （100歳時代に向け実践） ・ 歩こう会 （札幌、千歳、恵庭、北広島）地域分散型を継続展開
		(5)社会貢献活動 ・ 従来の社会貢献活動を実践 …… 計画通り → 参加会員へ交通費・食事を支部活動費より充当・提供 …… 計画通り	・ 従来の社会貢献活動を継承（6回／年） → 交通費・食事を活動費より助成し、参加して貰える環境を整える
		(6)広報活動 ◎ 「クロネコゆうメール」の変更に伴い、配布資料内容の見直し・郵送物の簡素化 → 隔月資料枚数の削減・スマホの活用をPR促進 …… 資料枚数の削減、スマホの活用まで至らず	◎ スマホ携帯で → line・QRコードの活用 → 個人認証登録増とHPアクセス向上を狙い、情報のスピード化も図る ・ 支部HP掲載欄の見直し → 投稿メンバーを増員、自由投稿・話題欄 等の整備、会員に見て貰えるHPを目指す
		(7)その他支部活動 ・ 年末恒例カレンダー配りを中止し、 ハガキ・メール で友愛確認を行う → 対象75歳以上で（ 対象107名／前年比15名増／40％ ） …… 現在状況確認中	◎ 75歳以上対象に、 ハガキ・メール で友愛活動を実施 → 会員の現況確認（会員全体については状況に応じ判断） → 状況は役員内で共有化し今後の活動に生かしていく
	3. 同好会	・ 同好会オンライン勉強会 …… 世話役を会員持ち回り講師とし実施（世話役高齢化対策） …… 実施好評 ・ 新規同好会の発掘 …… 麻雀・将棋・パークゴルフ（面白同好会新設） …… 世話役の担い手なし断念	・ 少数単位に分け活動を展開（小規模活動） → 活動費の一部助成も検討 ・ オンライン勉強会 → 世話役を持ち回りで実施 （世話役・役員の後継者育成に活用していく）
	4. 今後の課題	・ 「参加お得感」を前面にPRし参加人員拡大に努めていく …… 支部大会には補助金増額し実践する（効果薄） ・ 参加者を増やすZOOMコミュニケーション企画の拡大、現リモート同好会への新規会員参加確保 …… 情報交換会、HP勉強会 等 更なる活用を図ってくる ・ 役員、世話役の降板による候補者確保 …… 高齢化、体調悪化で継続不可状況、役員人選で難儀する	・ ZOOM活用の積極推進 → 役員会、隔月懇、会員同士のコミュニケーションツールとし幅広く使用願う ・ 役員、世話役の候補者選び → 直近必須課題（全体活動の中で見極めていく） ・ 支部活動費の見直し → 隔月懇回数見直し、資料の枚数削減 等を実践していく

注）提出期限 支部活動

2024年度総括

- ① 活動の参加会員固定・役員の高齢化で直近問題を対応せざるを得ない状況
役員候補選びを今まで以上に力を入れ探してきた。遊び心で気軽に参加協力してほしいとアピールするも、協力者現れず、今後も継続要す
- ② 行事参加への取り組みでは、景品付き活動内容を多めに取り入れ実践するが、
参加会員は喜ぶものの、参加人数増加には中々繋がりにくい状況であった
- ③ ZOOM開催に主眼を置いた活動を実施、参加者の裾のを広げる取り組みの強化
自宅参加型で高齢会員向けでもあり、盛り上がり定着してきている

基本スタンス

- ① 2024年度と活動内容に大きな変化はありません
同好会活動行事数も前年と同様数（58→58）
- ② 会員・世話役・役員と協力体制で、参加し易く・楽しんで
喜ばれる内容を増やし、参加数の向上に努めていく

重点施策内容

- ① 健康づくり → 隔月懇前に軽体操の実施
- ② 広報活動 → QRコード、line等を活用した取り組み
- ③ 友愛活動 → 高齢会員に重点を置き対応

支部名 東北

2025年度 支部年度別運営計画書

支部長名 森岡 荘司

印

		2024年度 活動総括	2025年度 活動方針
活動計画	1. 支部方針	1、新たな友愛活動の実践・・・未達 2、例会・部会活動の充実・・・成果有り 3、分会間の連携・・・成果有り	本部3ヶ年計画2年目 テーマ「つなげよう仲間とともにあふれる笑顔」を会員皆と提案、実施 1、新たな友愛活動の実施 2、部会活動の充実拡大 3、各種企画の見直しと参加率向上
	(1)支部大会(報告会)	・分会毎に実施・仙台では支部大会として各分会長出席 (分会長より分会の近況報告)	・支部・分会大会を報告会形式にし懇談を主体とするやり方に企画変更
	2. 重点活動・施策	(2)各種懇親会・イベント ・詐欺対策の為県警に依頼し「特殊詐欺について」セミナー開催 新春懇親会・グランドシニア・納涼BP・年末懇親会を実施	・◎既存の懇親会の実施プラス地域ごとの小懇親会の実施 イベント・・・長寿推進セミナー実施
	(3)会員情報収集活動	・	・ハガキ・アンケートによる近況把握（支部議案書（案）承認に伴う5月松愛に同梱）
	(4)健康づくり	・HPIに自由掲示板・情報交換広場・困りごと相談コーナー新設 ・健康ボウリング大会（5分会対抗） （優勝 福島分会）	・本部 元橋先生の1 DAYトレーニングの有効活用（例会時に実施）
	(5)社会貢献活動	・名取こども食堂への募金（ワンコイン） ・地域清掃活動（仙台・福島・山形）	・こども食堂への継続募金 ・地域清掃活動の継続実施
	(6)広報活動	・個人認証登録目標 80%にチャレンジ・・・73%	・個人認証登録目標 80%への再チャレンジ
画	(7)その他支部活動	・部会活動の活性（山形 ゴルフ部会・仙台 パークゴルフ） 体験会を実施、以降部会・同好会に昇格	
	3. 同好会	山形分会 ゴルフ部会来年度新設予定（体験会実施） 仙台分会 パークゴルフ部会来年度新設予定（体験会実施）	・山形、仙台分会共にゴルフ部会・パークゴルフ部会を発足 ・北東北分会はカラオケ同好会発足
4. 今後の課題		例会・役員会の会場確保 イベント会場の会場費・飲食費の高騰による参加費の検討（限界）	・新役員の成り手が居ない（就業・健康・家族問題）

注) 提出期限 ・支部活動 : 2025年3月3日(月)までに事務局(村瀬)へ提出願います

支部名： 栃木支部

2025年度 支部年度別運営計画書

支部長名： 北垣和紀



		2024年度 活動総括	2025年度 活動方針
活動計画	1. 支部方針	高齢化に伴い、参加者数は減少傾向にあるが、計画した全行事をリアル開催した。	・役員の負担軽減を図り、「明るく、楽しい」支部活動を目指す ・会員の健康づくりを手助けし、楽しみのある活動を行う
	(1)支部大会(報告会)	・飲食ありのリアル開催で実施した。初めての試みとして参加記念品を全員に配布した。会員参加75人。	・6/1に従来と同じく、「ホテルマイステイズ宇都宮」にてリアル開催する。第一部：議案論議、第二部：外部講師による講演、第三部：懇親会 & 抽選会
	(2)各種懇親会イベント	・新春懇親会を飲食ありのリアル開催で実施した。例年通り、第2部公演、第3部抽選会を行った。参加94人。 ・80歳以上対象の友愛懇親会実施。参加24人。 ・65歳、70歳、75歳対象の節目懇談会を実施。参加14人。 ・社会見学会は、バスでの見学を再開し「首都圏外郭放水路」を見学した。参加30人。 ・支部役員OBと現役役員の懇談会をおこなった。参加19人。 ・広報部・同好会世話役懇談会を行った。参加18人。	◎友愛懇親会は、支部として重要な行事と位置づけ、継続して実施する。駅からの距離を考えて、ホテルニューイタヤでの開催を基本とする。名称については今後検討する。 ・新会員懇談会は、新会員の減少、入会時就業しているなど参加率が悪いため、節目懇談会と一体化したうえで、年齢のくくりを見直し、ヤングシニア、ミドルシニア懇談会として開催していく。 ・節目懇談会は、上記に記載のとおり、「新会員を含む70歳未満」をヤングシニアと位置付けて、ヤングシニア懇談会を開催する。70歳～80歳未満のミドルシニアは、次年度以降の開催を検討する。 ◎新春懇親会は、例年通り三部構成とし、抽選会を実施する。
	(3)会員情報収集活動	・各種イベントに参加された方を業務システムに登録する。 参加されていない方で80歳以上には、友愛懇親会（80歳以上対象）の参加案内ハガキで近況の報告をいただく。返信のない方には電話等で安否確認する。	・80歳以上についてはイベント参加、友愛懇親会返信ハガキ、電話での安否確認を行う。 ・80歳未満については、特別に情報収集は行わない。
	2. (4)健康づくり	・「とちぎ健康ウォーク2024」を継続して実施し、個人での健康づくりの取り組みを継続実施した。参加54人。	◎とちぎ健康ウォークを2025年も継続する。 ・健康ウォーキング&BBQは、三世代対象行事として継続実施する。 ・HPへの健康情報掲載を継続して実施する。
	(5)社会貢献活動	・足尾植樹は自家用車での乗合せで4月の春の植樹デーに参加。参加14人。 ・御幸公園清掃を年4回実施 累計参加49人。 ・水環境調査を実施した。那珂川水系・鬼怒川水系、合計4か所、4人参加。 ・AKARIアクションは、応募点数62点、寄付金額17,228円となった。 ・隔月で支部報「とちぎ」を発行した。HPは自由投稿欄を設けて投稿数も増加している。	・足尾植樹は春の植樹デーに参加。バスは使用せず、自家用車の分乗とする。 ・御幸公園清掃は年4回として継続実施。 ・AKARIアクション、水質検査は継続実施。
	(6)広報活動		・広報誌は、本部の発行と併せて、年5回の発行とする。 ・HPは、自由投稿を推進する。フォームメーカーは各種行事で利用を促進する。 ・メルマガ発信や更新回数を減らし、担当者の負担軽減を図る。
	(7)その他支部活動	・レディース部会を年2回開催した。参加16人。 ・定例支部役員会を毎月開催した。	・レディース部は、女性会員同士の親睦と松愛会活動の意見交換の場として年2回定例会を実施。
	4. 同好会	・レディース部会から分離独立して「とち愛会」が発足し活動を継続している。 ・6同好会と、数は減ったが継続的に活動ができている。 ・2月末時点で累計490人（会員外含む）参加。	・支部大会や、新春懇親会、会報やHPを活用して会員の募集を行う ・健康ボウリング同好会は、会員以外の飛び込み参加も認めてすそ野を広げていく ・とち愛会は、固定した会員を登録せず、活動ごとに参加者を募る方式で行っていく
	5. 今後の課題	・会員の高齢化による、各種行事の参加率ダウン ・物価高騰により、各種行事の予算建てが難しい ・本部からの助成が減額予定なので、予算立案が困難 ・役員や世話役の高齢化による活動力低下	・各種会費は、受益者負担の考えで、値上げすることも考えていく ・行事の整理統合も視野に入れて計画を立案する ・役員の負担軽減（特に弔事）

注) 提出期限 ・支部活動 ： 2025年 3月3日（月） までに事務局（村瀬）へ提出願います

支部名		2025年度 支部年度別運営計画書		支部長名	浅野正裕
		2024年度 活動方針	2025年度 活動方針		
活動計画	1. 支部方針	・「つなげよう 仲間とともに あふれる笑顔」をテーマに支部活動の推進 ・参加型行事の強化で会員の健康づくりを支援 ・新任支部役員は3名。早期引継ぎと安定した活動を推進	・「つなげよう 仲間とともに あふれる笑顔」をテーマに支部活動の推進。 ・参加型行事の強化と同好会活動のさらなる活性化で会員の健康づくりを支援。 ・「65歳までは就労」を前提とし、若手会員が参加しやすい活動を展開する。		
	(1)支部大会(報告会)	◎ 5月18日 全国家電会館で開催。参加40名。 行政書士 小山内一得氏による相続をテーマとした講演。	◎ 5月24日 全国家電会館で開催予定（支部単独開催）。 趣向を凝らした懇親会を目指し、恒例のお楽しみ抽選会も実施。		
	2. 重点活動・施策				
	(2)健康づくり	◎ 「お江戸健康ウォーク・日本縦断 新幹線の旅」を実施。 会報に「お江戸健康管理室」を継続掲載。「みちくさ会」7回開催。	みちくさは夏季の開催を取りやめ年6回予定。 「お江戸健康ウォーク」を継続。		
	(3)友愛活動	75歳以上の会員への友愛活動を継続。メール、電話等によるアンケートを実施。対象会員の回答（2/未現在）率92.8%	◎ 75歳以上の会員への友愛活動を継続。積極的な友愛活動を展開し、高齢会員の状況把握に努める。		
	(4)社会貢献活動	使用済切手贈呈。11月日本刊ス教海外医療協力会に2万枚。 11月22日 新宿中央公園清掃活動	使用済切手の収集活動の継続。収集枚数が低下している現状だが毎年の贈呈を目指す。 都立公園等での清掃活動を検討。会員参加と活動継続に向けた課題を解決する。		
	(5)広報活動	◎ 会報誌「お江戸松愛」の隔月発行（6回）。 HPの拡充。個人認証登録率64.4%（前年比+3.9%）	◎ 会報誌「お江戸松愛」の発行。本部機関紙に合わせ年5回発行。 HPの使いやすさの改善。また、会報とともに他支部の事例も参考に内容の充実を図る。		
	(6)その他支部活動	・ 節目懇談会（70、74、75歳）を3月開催予定。30名参加見込。 ・ 女性会員懇談会（関東6支部合同）を10月23日に開催。 貨幣博物館など訪問。合計23名参加（当支部幹事）。 ・ 社会見学会（首都圏支部共催）9月、アビビル茨城工場。合計33名 ・ 新春懇親会（首都圏支部共催）を家電会館で開催。合計97名。 ・ 65歳以下の会員を対象に「新入会員情報交換会」3月開催予定。	・ 節目懇談会（70歳・74歳）の内容充実と参加人数の増加を図る。 ・ 新入会員情報交換会（65歳以下対象）の開催 ・ 女性会員懇談会（関東6支部合同）を幹事として開催。 ・ 社会見学会（首都圏支部共催、当支部主担当）の実施。 ・ 新春懇親会の開催。 いずれの行事も、内容の充実と積極的な勧誘で参加会員の増加を目指す。		
	3. 同好会	・ 2月「クラブ同好会世話役懇談会」開催(首都圏支部共催) ・ 多摩カラオケクラブ 12月で活動中止。	・ 「クラブ同好会世話役懇談会」開催(首都圏支部共催 当支部主担当) ・ 周辺の支部との連携を強化し、当支部にない分野の同好会への参加を斡旋する。		
	4. 今後の課題	・ 支部役員は支部長含め9名（うち会計責任者1名）及び顧問2名、 広報・同好会世話役 各1名の計13名体制で運営を図った。 また新任役員3名を迎えた。 ・ 課題として、HP担当が任期中途で交代したため引継ぎが急務。	・ 会員の高齢化に伴う行事参加人数の減少。若手会員の参加促進。 ・ 新規加入率の減少。松愛会加入メリットの積極的なPR。 ・ HPの充実。また、会報とともに他支部の事例も参考に改善を図る。 ・ 新規同好会の立ち上げ。		

注) 提出期限 ・支部活動 : 2025年3月3日(月) までに事務局(村瀬)へ提出願います

支部名 首都圏支部 2025年度 支部年度別運営計画書 支部長名 正岡 三陽

		2024年度 活動総括	2025年度 活動方針
活動計画	1. 支部方針	・計画した行事等の積極的な支部活動ができた。 ◎65才以下会員の対する掘り起こし（3名の若手役員の登用） ◎支部HPの魅力度アップは段階的進展となる。	新3か年計画2年目を基軸に「松愛会首都圏支部のあり方」を模索する一年間とする。 ◎全国唯一、特殊な「枠組み」の首都圏支部独自運営方法の新規開発 ◎「松愛会に何を求めるか」世代別アンケート実施。（フォームメーラー活用）
	(1)支部大会(報告会)	・5/12(日) 山崎製パン企業年金基金会館（千葉県市川市）にて、単独開催。支部大会」（兼）「千葉・埼玉地区合同交流会」として開催（支部運営費削減対策）	・5/17（土）山崎製パン企業年金基金会館（千葉県市川市）にて、引き続き首都圏支部単独開催 ・「2025年度首都圏支部年次支部大会」（兼）「千葉・埼玉地区合同交流会」（支部運営費削減対策）
	2. 重点活動・施策	・3/8（土）ヤングシニア懇談会を実施→出席者から新役員を発掘（65歳以下会員対象・健康づくり起点は60才代から） ・完全定着した「往復葉書アンケート」継続 従来通り「往復葉書近況伺いとし、HP閲覧有無項目を追加 ・富士山清掃、手賀沼清掃を実施し多数の参加を得る ・「使用済み切手収集」も目標達成するが、今後は収集困難 ・ホームページ担当の増員により、スピード及び内容のアップを図った ・支部長メッセージ等コンテンツの充実を図った。	・ヤングシニア懇談会の継続開催。◎女性役員による各地女性懇談会実施へのフォローアップ強化 ・「みちくさ会」「漫友会」「野鳥観察」を健康づくり促進として、会場近隣会員に告知する ・直近の住居強盗事件（アポ電等）を鑑み、引き続き「往復葉書近況伺（自由記述）」とHP閲覧項目のみとする （フォームメーラーでの回答も検討する） ・富士山清掃、手賀沼清掃の実施と参加者拡大を図る ・「使用済み切手収集」「みんなでAKARIアクション」「石油FF見かけ情報」の継続 ・健康情報・介護施設情報・各種セミナー情報等の提供による、支部HP閲覧回数拡大策 ①支部役員輪番制での投稿 ②新入/転入会員の紹介ページ
	(4)社会貢献活動	・支部役員業務のさらなる効率化を図った。訪問を原則しない ・関東5支部共催「特別寄席」「観劇会」の解消⇒本部企画に集約	・支部役員業務のさらなる効率化 友愛活動に続き慶弔における訪問を原則しない ・本年も本部企画の観劇等に集約し、参加者の増員策を模索する ◎・2025年度は東京都支部との共催行事 「女性会員懇談会」「社会見学会」「クラブ・同好会世話人懇談会」を共催する。新春懇親会は独自開催する ◎女性支部役員を主体に、各地の女性会員懇談会実施とフォローアップ ◎他支部の取り組み事例を参考に首都圏支部独自の行事以外（HP利用）での会員参加策を模索する。
	(5)広報活動		
	(6)その他支部活動		
3. 同好会		・2/8クラブ・同好会世話人懇談会を開催。共通課題として会員の高齢化による会員数と参加者減が実態であり、存続が危うい会あり	・クラブ・同好会活動の会員告知の充実、ホームページへの会員募集への告知
4. 今後の課題		・会員活動の活性化と参加者アップの取り組み ・松愛会会員への「つながり策」検討	・参加し易い地域密着型の新クラブ・同好会の立ち上げ検討 ・超広域支部として最低限「やるべき事」見直し検討 ◎・仕事や自治活動・自身の健康・家族の介護問題等で行事に参加出来ない会員への対応 ①家族同伴での行事参加策を模索検討し、実現を図る。又、家族が参加できる独自行事 「例：屋形船遊覧等」の実施 ②参加出来ない会員へのWEBを利用した行事参加促進やWEB訪問を模索検討する

注) 提出期限 ・支部活動 ： 2025年3月3日（月）までに事務局（村瀬）へ提出願います

支部名 横浜東・西支部

2025年度 支部年度別運営計画書

支部長名 村松 克芳

村松 飯塚 久典

		2024年度 活動総括	2025年度 活動方針
活動計画・重点活動・背景	1. 支部方針	1) 「つなげよう 仲間とともに あふれる笑顔」「親しみ 楽しみ 喜び合える」支部活動の推進。 2) 会員の高齢化に伴う参加しやすい活動の取り組み。 3) 女性会員の活動の場を広げる取り組みの推進。	1) 「つなげよう 仲間とともに あふれる笑顔」「親しみ 楽しみ 喜び合える」支部活動の継続推進。 2) 会員の高齢化に伴う身近での参加しやすい活動への取り組み。 3) 新会員（女性会員含む）の入会促進強化
	(1)支部大会	◎ 5/25（土） 佐江戸南厚生棟 107名参加 ・講演「相続と相続税の基本」・懇親会	◎ 5/24（土） 佐江戸南厚生棟
	(2)各種懇親会・イベント	①新会員懇談会 7/28（日）佐江戸北事業所 14名参加 ②社会見学会 11/20（水）ライブハウスレストラン「ケネディハウス銀座」62名参加（21組ご夫妻含） ③女性会員懇談会 10/29（火）味の素工場見学、日航ホテル昼食会 7名参加 ④地域別節目懇談会 新横浜 65歳 11/30(土) 9名参加、 70歳 12/14（土）6名参加 ⑤75歳以上の地域別懇談会 3会場にて実施 ・11/25（月）新横浜 46名参加 ・11/26（火）横浜 27名参加 ・11/29（金）町田 44名参加 ◎⑥新春懇親会 1/25(土) PAS（株）池辺事業場 204名参加	①新会員懇談会 ②社会見学会 ③女性会員懇談会 ④節目懇談会 対象年齢に幅を持たせる 参加できなかった会員への呼びかけも検討 ⑤75歳以上の地域別懇談会 皆と一同で会いたい希望あり！ 集約と分散の隔年開催も再検討 ◎⑥新春懇親会 1/24(土)
	(3)会員情報収集活動	* 長寿祝い当該会員への個別連絡実施 お祝い連絡と変更点有無の確認 * 慶弔連絡に対する対応	* 長寿祝い当該会員への個別連絡実施 お祝い連絡と変更点有無の確認 ・電話連絡は原則中止とする（詐欺防止対策による電話応答拒否） →他の方法を検討
	(4)健康づくり	①食の健康 12/3（土）PAS(株) 講演「腸は超すごい」と健康食事の体験 ②健康体操 支部大会、クラブ同好会世話人会、鶴見川植生保全 等 で体をほぐす体操実施	①食の健康 ②健康体操 単独開催は止めイベント内での体をほぐす体操として継続実施
	(5)社会貢献活動	鶴見川鴨居高水敷植生保全活動 ①NO.40 6/1（土） 39名参加 ②NO.41 10/5(土) 61名参加 終了後にバーベキュー大会で懇親	鶴見川鴨居高水敷植生保全活動 ①NO.42 ②NO.43
	(6)広報活動	機関紙「はまだより」発行 H Pは内容の追求とタイムリーな更新 ブロック別支部H P 責任者交流会の取り組み反映と双方向対応の推進 ・支部メルマガ配信（サブミットメール配信導入）・支部HP連携	機関紙「はまだより」発行継続 …発行回数見直しについては、本部と連携しすすめる H Pは内容の追求とタイムリーな更新 ブロック別支部H P 責任者交流会の取り組み反映と双方向対応の推進継続
	(7)その他支部活動	* 構造改革プロジェクト発足 改革実践（役員会活動・会員サービス・支部行事・I T） ・横浜東・西支部 地区割見直し（区単位） ・支部役員体制（地区・専任担当）実施	* 構造改革プロジェクト継続推進 （役員会活動・会員サービス・支部行事・I T） ・横浜東・西支部運営体制の見直し継続
	3. 同好会	クラブ世話役懇談会 9/22（日） 13クラブ 18名参加 佐江戸北事業場	クラブ世話役懇談会
	4. 今後の課題		

注. 提出期限 ・支部活動 ： 2025年3月3日（月）までに事務局（村瀬）へ提出願います

支部名 湘南支部

2025年度 支部年度別運営計画書

支部長名 浦田米蔵 **浦田**

		2024年度 活動総括	2025年度 活動計画
活動計画	1. 支部方針	活動スローガン:仲間と共に・笑顔で楽しく・生き生き！ ・志を同じくした仲間と人生100年時代を楽しみ・喜び合える湘南支部 1. 地域事業場OB会との連携強化で地域・会員情報収集の迅速化 2. 社会環境に迅速に対応した会員のための支部活動	活動スローガン:仲間と共に・笑顔で楽しく・生き生き！ ・志を同じくした仲間と人生100年時代を楽しみ・喜び合える湘南支部 1. 会員相互の連携強化で会員情報収集の迅速化 2. 地域社会情勢に迅速に対応した会員のための支部活動⇒事業場OB会解散後の対応
	(1)支部総会	1. 6月1日に本部指針に沿って開催 ⇒支部議案書の送付で、意見を求め、参加者で採決を行った	1. 5月17日に本部指針に沿って開催 ⇒支部議案書の送付で、意見を求め、参加者で採決を行う
	2. 重点活動・施策	(2)健康づくり 2・健康に効果のあるクラブへの支援の強化(歩こう会等) ⇒活動場所の閉鎖等で、存続危機のクラブあるも代替地の確保で存続 (3)友愛活動 3. 慶事祝いの手渡しへの拘りと90歳以上の方への自宅訪問の実施 (長寿祝いは、すべて本部振込となり、訪問での現況確認できず) ⇒友愛活動として、90歳以上50名の自宅・施設訪問を実施 ・32名が元気、12名が病気療養中、4名が施設生活、2名が寝たきり (4)社会貢献活動 4. 「古切手収集」活動で累計20万枚を社会福祉法人「太陽の家」寄贈 (5)広報活動 5. 「湘南ニュース」、年4回の予定が、行事・イベントあり、5回発行した (6)その他支部活動 1. 高齢化で存続の危機にあるクラブの活動見直し ・園芸・気功太極拳・詩吟・謡曲クラブの高齢化問題あるも会員の意思で存続 2. 地域事業場OB会の方への支部活動への参加推進 ⇒地域事業場OB会も高齢化で存続の危機あり、解散の流れにあり 3. 恒例の秋のバス旅行⇒参加者少なく中止⇒時期と場所の見直しが課題 4. 友愛懇親会を改編し「湘南秋の集い」をプロの歌手の歌声で開催	2・健康に効果のあるクラブへの支援の強化(歩こう会等) ⇒クラブ活動の存続・解散は会員の意思にて行う 3. 90歳以上の方の自宅・施設への訪問⇒57名(訪問辞退の方への訪問は控える) 4. 古切手収集活動の継続＝支援の継続 5. 湘南ニュースの発行の継続⇒年4回は継続する 6-①. 地域OB会との連携強化で、解散後の受入体制の構築を図る 6-②. イベント会場「藤沢市民会館」の建て替えて、3年間別の会場が必要 ⇒100名以上が会議・飲食サービスできる会場がなく課題は大きい 6-③. 「湘南秋の集い」は、懇親会を主に開催を行う
	3. 同好会 4. 今後の課題	新規で提案があった「男の料理教室」は、場所と費用の関係で断念 事業場OB会解散後の松愛会への勧誘の強化 ⇒乾電池会は、平均年齢80歳を超え、解散。テレビOB会も同様に解散の方向	◎ 交代役員の人材の発掘

注) 提出期限 ・支部活動 : 2025年3月3日(月)までに事務局(村瀬)へ提出願います

支部名 北陸支部

2025年度 支部年度別運営計画書

支部長名 山本千賀夫 印

		2024年度 活動総括	2025年度 活動方針
活 動 計 画	1. 支部方針	「つなげよう 仲間と共に あふれる笑顔」 - H.P.の表現力・発信力Up - 女性会員活躍の場を拡大	- 参加することの楽しさを発信（"H.P."の魅力拡大と "会報"から"H.P."に案内） - 会員同士が交流できるツールの共有化（携帯・パソコン／LINE・メール） - シニアに役立つ情報の発信（健康管理、各種保険、家改築、財産分与、終活、など）
	(1)支部大会(報告会)	各分会に分れ"分会総会"を開催 8分会、6会場 109名（5/11～7/7） 6/29福井分会ⅠⅡ合同総会に本部役員出席	◎ 8分会個別で総会を開催（地域環境に則した特徴ある分会総会開催） 8分会、5会場にて開催（5月～7月）約120人（概要）
	2. 重点活動・施策	(2)健康づくり - 歩こう会、ゴルフ、グランドゴルフほか 歩こう会：85名、ゴルフ：76名、Gゴルフ：75名 新企画"健康ウォーク"始めました：44名 (3)友愛活動 - 友愛活動 77歳以上の会員対象者 142名 はがき・メール（ ）、電話（ ）、訪問（ ）、他 (4)社会貢献活動 - 全国水質調査 5分会 19名 - 車椅子寄贈：能登災害により次年度に繰り越し (5)広報活動 "HP閲覧依頼"2週ごとにメール発信⇒閲覧数がUP - 北陸支部だより定期発行 7月、11月、3月 (6)その他支部活動 - 女子会開催が定着：4分会で24人参加 - H.P.投稿UP（同好会・自由投稿：57件⇒67件）	◎ 歩こう会、支部ゴルフ、グランドゴルフの継続 新規"健康ウォーク"や"エンジョイ憩いの会"を周知、楽しさをアピールしていく ◎ 友愛活動 77歳以上の会員対象者 211名 増加する対象者とのコミュニケーション改善を図る（メール/はがきにシフトしアンケート方式へ） ◎ プルタブ収集と募金による車椅子寄贈の継続（石川分会・武生分会） 全国水質調査継続 5分会で計画・AKARIアクションの展開（支部役員でトライし展開） ◎ 個人認証登録件数UP・訪問件数UPで支部内の中位ヘトライ "H.P."の魅力拡大取り組み（有志にて）、"会報"を活用し"H.P."に誘導する仕組み作り ◎ 支部（分会）行事に参加し易くするため女性会員や家族同伴などを積極アピール 各種行事に"家族同伴で参加出来ます"を表記 ◎ 会員同士が交流できるツールを取り入れ共有化（携帯・パソコン／LINE・メール） 各分会の活用事例を紹介頂き、他の分会に展開 ◎ シニアに役立つ情報の発信（健康管理、各種保険、家改築、財産分与、終活、など） 会総会や懇親会などで、アドバイザーに紹介頂く
	3. 今後の課題	- H.P.活用拡大（ジャンル拡大・対応人材確保） - 会員同士の交流拡大（同好会・自由投稿を呼びかけ） - 健康管理（"健康ウォーク活動"の裾野拡大） "広報"＆"H.P."の連携強化で発信力UP - 女子視点の活動エリア新規構築	

注) 提出期限 ・支部活動：2025年3月1日（土）までに事務局（村瀬）へ提出願います

支部名 静岡

2025年度 支部年度別運営計画書

支部長名 石井 輝秋

印

		2024年度 活動総括	2025年度 活動方針
活動計画	1. 支部方針	松愛会のテーマ「つなげよう仲間とともにあふれる笑顔」を基に、支部としては「ポストコロナで笑顔で集い健康長寿を実現する」をスローガンに活動を進めてきました。	松愛会の新3カ年計画のテーマ「つなげよう仲間とともにあふれる笑顔」を基に昨年度に引き続き、「笑顔で集い健康長寿を実現する」を支部の方針として、会員高齢化に対応した友愛活動・健康づくり・社会貢献活動を推進します。
	◎(1)支部大会(報告会)	2024年5月18日(土)に袋井新産業会館で53名の参加で開催。2024年度の議案書の承認を得た。	5月17日(土)に開催予定。会場は袋井新産業会館キラットで行う。会員数が最も多い地域にあり、袋井駅からの便が良いので、高齢の会員も参加し易い。
	2. 重点活動・施策		
	(2)各種懇親会・イベント	ミドル懇談会(70歳未満)は7月20日に16名参加、銀座ライオンでシニア懇談会(70歳以上)は10月1日に13名参加、和の湯で開催地区定例会は4地区で合計22回、270名余が参加した。	ミドル懇談会(70歳未満)は7月5日(土)に銀座ライオン浜松で、役員会と同じ日に開催する。シニア懇談会(70歳以上)は10月7日(火)に袋井和の湯で、開催する。
	(3)会員情報収集活動	新春懇親会および支部年次大会の出欠確認ハガキで、近況欄を設け、また未返信者に安否確認を行っている。	西部東地区定例会は開催日を火曜日から土曜日に変更し、就業の会員も参加し易い様にする。支部年次大会の出欠確認ハガキの近況欄を自由記述から、項目選択方式にして、未記入者を無くす、或いは少なくする様に工夫する。各地区役員による未返信者の安否確認をより精度を上げて、継続する。
	(4)健康づくり	同好会は全て計画通り実施。会員の健康の一助とした。6月には健康セミナーを、12月には交通安全セミナーを実施した。	昨年と同様にP保健サービス様との共催で外部講師による健康セミナー等を開催する予定。各地区定例会では、会員の身近な健康話題を提供して頂き、お互いの知恵の交換を行う。
画	(5)社会貢献活動	プルタブ回収の収益と各同好会の募金により、福祉施設への装備品の贈呈を12月3日に実施。プルタブ、アルミ缶の回収は今年で終了。	プルタブ収集活動はプルタブ価格の優位性が無くなり非効率化したため、アルミ缶を含めて回収を中止します。また車椅子贈呈に限らず、社会福祉施設への装備品贈呈に変更し、募金活動を「まごころ募金」と改称継続します。
	◎(6)広報活動	地区毎の定例会で、支部行事報告書を22回発行。4ヶ月間行事予定表を年3回、しずおかだよりを年6回発行。	地区定例会における支部行事報告書としずおかだよりの発行を支部全体として見直をする事により、また支部一斉メールを含めて、支部全体に情報を広く届ける様な方法を、役員会として検討したいと考えています。
	◎(7)その他支部活動	1月11日に新春懇親会を袋井新産業会館で開催、54名参加。10月22,23日に秋の一泊旅行を箱根仙石原で実施、14名参加。	現状として支部行事、同好会活動の殆どが西部東地区に集中している。その他多くの課題に対して、三役会(正副支部長と会計)+α(当該役員)による「支部全体構造見直し会(仮称)」で原案検討をして行きたい。
3. 同好会		7つの同好会は全て予定通り、合計43回実施。新規のカラオケは会員の参加人数で苦労した。	歩こう会としょうぶ会(ゴルフ)はお世話役が若手にシフトしましたが、その他の同好会も次世代のお世話役を育てる時期に来ています。
4. 今後の課題		友愛活動で安否不明者がいる。返信ハガキを出さない、地区役員が電話、Eメール、携帯メール、訪問に対応しない会員がいる。会員、役員の就業率が高くなり、行事、同好会の参加が困難になる傾向がある。	支部全体のパソコンの所有率が高くなく、スマホの情報交換スキルが不十分な中で、今後の支部会員への情報伝達、コミュニケーションのあり方を見直す必要があると思います。また、会員、役員の就業率が高くなり、支部行事、同好会の開催日や会場を見直す必要があると思います。

注) 提出期限 支部活動 : 2025年3月3日(月)までに事務局(村瀬)へ提出願います

支部名 中部		2025年度 支部年度別運営計画書		支部長名 久保山幸夫	印
		2024年度 活動総括	2025年度 活動方針		
活 動 計 画	1. 支部方針	人生 100 年時代に向け健康年齢を伸ばし、仲間と集う	人生 100 年時代に向け健康年齢を伸ばし、仲間と集う		
	(1)支部大会(報告会)	●報告・懇親会として、愛知・岐阜・長野にて実施	報告・懇親会として、愛知・岐阜・長野にて実施		
	2. 重点活動・施策		各、地区懇親会の継続実施イベントは特になし		
	(2)各種懇親会・イベント				
	(3)会員情報収集活動	●会員アンケート+各懇親会+同好会と連動した情報収集	支部独自の収集取止め		
	(4)健康づくり	●年 2 回のノルディックウォーキングを中心に実施（ジブリパーク）	ノルディックウォーキング		
画	(5)社会貢献活動	●中部チョコボラの継続実施（ジブリパーク・生命の森）	中部チョコボラの実施		
	(6)広報活動	●H/Pへの役員・会員の投稿スキルUPと掲載内容の充実UP	H/P投稿スキルUP		
	(7)その他支部活動	●女性会員の入会促進継続	女性会員の入会促進継続		
3. 同好会		新たな、同好会の模索	新たな同好会の模索		
4. 今後の課題		新役員発掘の推進	新役員発掘の強力推進		

注) 提出期限 ・支部活動 ： 2025年3月3日（月）までに事務局（村瀬）へ提出願います

支部名		2025年度 支部年度別運営計画書		支部長名	堀口 享 印
		2024年度 活動総括	2025年度 活動方針		
活動計画	1. 支部方針	つなげよう 仲間とともに あふれる笑顔"をスローガンとして、 会員の皆さんと一緒に魅力ある楽しい活動を企画・推進し 『あふれる笑顔いっぱい』の三重支部を目指します	・新3カ年計画『会員相互の友愛を基軸に健康長寿を目指して "つなげよう 仲間とともに あふれる笑顔"をスローガンとして、会員の皆さんと一緒に魅力ある 楽しい活動を企画・推進し『あふれる笑顔いっぱい』の三重支部を目指します。		
	重点活動・施策				
	(1)支部大会(報告会)	・支部大会としことで最初からご来賓も参加、会員ご家族も参加は無った。 一方、参加確認のハガキ返信者全員を対象とした抽選会を実施 (賞20本：全部不参加者が当選となり、参加出来なかった会員にも、 支部活動のPRと、少しは還元出来た)	◎支部大会とし、会員・会員ご家族も参加しやすい最主要的行事とする。 ：1部、活動・新年度運営計画報告 2部、シリウスバンド演奏会 3部、懇親会・ビンゴゲーム (参加確認のハガキ返信者全員を対象とした抽選会を継続実施)		
	2. (2)各種懇親会・イベント	・伊賀地区：暑気払い(17名内家族1)/伊勢地区：手作りBBQ大会 (50名内会員32家族5、男性15女性35F会員13) ・新会員歓迎会、節目懇談会(65歳、75歳、80歳) 初開催、 総合リーグ会議：伊勢・伊賀両地区実施 ・秋レク：吉本新喜劇65周年ツアー三重公演 参加者41名 (内：会員24名、ご家族：配偶者～孫15名、F会員 2名) ・天体鑑賞会(松阪市天文台の協力・会員)：参加者8名(内：家族1名) ・女性会員・F会員参加活性化：初釜の開催：参加者39名 (内：会員11, F会員27名) /桜茶会(同好会主催/支部共催) の開催	支部行事/地区別懇親会の充実で参加者促進・活性化(会員・会員家族・F会員) ・伊賀地区懇親会：暑気払い / 伊勢地区懇親会：手作りバーベキュー大会実施 ・新会員歓迎会・65歳節目会員懇談会/総合リーグ会議の(伊勢・伊賀地区両地区開催) ・節目懇談会(75歳、80歳)(伊勢・伊賀地区両地区開催) ・秋レクの合同開催(伊勢地区・伊賀地区統一開催化) ・女性会員・F会員参加活性化：初釜の開催/桜茶会(同好会主催/支部共催) の開催 ・天体鑑賞会(松阪市天文台の協力・会員)		
	(3)会員情報収集活動	・友愛活動アンケート回収率：88.8%、過去最高/ 友愛活動対象者70歳以上：95.0%	・友愛調査活動：全会員へのアンケート発信・継続 (全会員の情報収集と70歳以上、一人暮らし会員の重点フォロー実施)		
計画	(4)健康づくり	・爽やか健康ボウリング大会(伊勢・伊賀地区同時開催) 41名 女性参加率24%(会員・家族・F会員)と盛況(好評) ・ターゲットバードゴルフ大会(伊賀地区開催) ・清掃ボランティア活動実施(松阪市市役所周辺清掃活動)：雨天中止 ・水環境全国一斉調査活動(櫛田川6カ所・名張川2カ所)実施： 会員19名参加(内女性3名) ・植樹活動：松阪市森林公園主催体験会に参加：会員17名参加 (内女性7名)・社会貢献募金活動(こども食堂への寄付の模索)	・健康づくり活動開催(伊勢地区、伊賀地区の両会場で同時開催を継続) (誰もが気軽に参加可能なイベント検討：ボウリング大会：女性参加率高く好評) ・ターゲットバードゴルフ大会(伊賀地区開催) ・清掃ボランティア活動実施(松阪市市役所周辺清掃活動)：会員・会員家族・友人への参加募集 ・水環境全国一斉調査活動(櫛田川・名張川追加にて)実施：会員・会員家族・友人への参加募集 ・植樹活動：松阪市森林公園主催体験会(樹木の寄付含)実施：会員・会員家族・友人への参加募集 ・社会貢献募金の有効活用：植樹活動に加え、新たなボランティア活動の模索(子供食堂への寄付/ みんなであかりアクションへの寄付等々) ・東日本大震災復興支援「追悼絵燈籠の絵」応募 ・広報・ホームページ活動の充実・強化(個人認証件数アップとHPアクセス数アップ) ◎HP内会員投稿ページの充実で、会員相互のコミュニケーション・交流活性化 趣味・特技専門家登録と、会員へのアドバイスで問題解決：会員同士の助合い・不用品リユース紹介) ・個人認証登録件数向上ローラ作戦の継続推進		
	(5)社会貢献活動				
	(6)広報活動	・広報・ホームページ活動の充実とPR強化：HP活動報告(動画+写真) /ACメール斉配信(行事案内・行事活動報告・同好会活動報告)と 個人認証登録件数向上ローラ作戦の実施 *HPアクセス数UP3.24→ 3.36 *個人認証件数UP*55.1%→63.2%1月末比			
計画	(7)その他支部活動	・支部独自長期療養者お見舞い活動の継続的实施：2名(本部：廃止) ・松寿会との相互交流会(松寿会：7月、カルチャーフェスティバル9月、 松愛会：総合リーグ会議12月、初釜1月、桜茶会3月)	・支部独自長期療養者お見舞い活動の継続的实施(本部：廃止) ◎松寿会との相互交流会の更なる促進(双方のホームページ掲載情報交換) ①支部行事交流(松寿会：カルチャーフェスティバル/松愛会：BBQ大会・総合リーグ会議・初釜他)		
	3. 同好会	・16部会の同好会活動が、活発に活動推進で、2018年の延べ参加者数の ピーク時まで回復 ・松寿会同好会との交流スタート(パソコン絵画部会・麻雀部会)	・新規同好会活動の検討：ボウリング部会、グランドゴルフ部会の要望あり ・同好会活動のRP/発信(部会長コメント・動画のHP掲載・メール)で、参加者促進・HP閲覧促進 ・松寿会同好会との交流活性化 パソコン絵画部会・麻雀部会→歴史探訪部会・歩こう会・山歩き部会・麻雀部会その他拡大) ・若手会員の推薦入会の促進活動強化：支部内インセンティブ-入会者@2000商品券の継続推進 ・支部役員業務の効率化・改善推進で、役員負荷の軽減と経費削減 ①支部役員会の土曜日開催(有職役員対応)とWeb会議(Zoom会議で移動時間・経費削減) ②支部行事のスクラップ&ビルド検討(2026年度以降に向けて) ・役員・同好会部会長の後継者候補の発掘・育成(アンケート・若手リーグづくり、他)		
4. 今後の課題		・会員数の上げどまり傾向への対応 ・参加者数の減少(高齢化)歯止めと若手会員の参加促進 ・支部役員、同好会部会長の後任候補の発掘・育成			

注) 提出期限 支部活動：2025年3月3日(月)までに事務局(村瀬)へ提出願います

支部名:滋賀支部

2025年度 支部年度別運営計画書

支部長名 西脇 直哉 印

		2024年度 活動総括	2025年度 活動方針
活 動 ・ 施 策 計 画	1. 支部方針	2024年度は、支部行事をはじめ同好会も制約を受けず開催でき会員相互のコミュニケーションを拡げる事ができた。	本部方針である会員相互の友愛を基軸に健康長寿を目指すために、組織運営を改善して参ります。 支部大会・日帰り旅行・新春懇親会等の滋賀支部の主要行事を維持向上しながら、より多くの会員の皆様に参加いただける行事の在り方を模索して行くと共に、会員相互の情報交流や皆様の求める情報の提供を機軸をおいた広報活動の改善に取り組めます。また新入会員の入会促進を行う会員特典のPR活動を積極化すると共に、魅力ある支部活動を目指して、取り組んで参ります。
	(1)支部大会(報告会)	◎報告会として開催。参加促進を図るため懇親会を実施し会員同士の交流を深めることができた。	◎従年とうり5月に実施し、事前に議案書を会報・HP等で全会員に周知し質問を受け付け回答をした後報告会として開催します。前年好評の健康セミナー・懇親会も実施します。
	2. 重点活動	◎新春懇親会は、アトラクション・福引大会等で盛り上がり大好評で終えることができた。	◎新春懇親会は、例年とうり開催いたします。
	(2)各種懇親会・イベント	◎日帰りバスツアーは、高齢化に伴い今後は近郊で開催。	◎日帰りバスツアーは、参加会員様が毎年楽しみにして頂いていますので今後も継続開催いたします。
	(3)会員情報収集活動	・友愛活動で昨年同様ハガキでのアンケートと抽選会で回答率を高めることができた。	・友愛活動は、2024年度と同様の取り組みを継続します。 (80歳以上の長寿会員様対象)
	(4)健康づくり	・支部大会に合わせて心身の健康セミナーを実施できた。	・同好会活動は、日常的健康づくりと位置づけ、あらゆる機会での入会促進を図ります。
	(5)社会貢献活動	・ボウリング大会は、参加者も少なく中止。	・支部大会、新春懇親会とセットで健康セミナーを開催いたします。
	(6)広報活動	・車いす贈呈先贈呈先：甲賀市・彦根市	・プルタブ回収活動と琵琶湖ヨシ刈・あかりアクションのPR活動は、従来通り継続します。
	(7)その他支部活動	・あかりアクションのPR活動（HP・会報・新春懇親会等）	・身近な水質環境の全国一斉調査への参加促進を図ります。（本年度は、支部役員20名参加）
3. 同好会		・HP委員の増員によりタイムリーに更新でき充実が図れた。	・昨年同様HP・会報の充実を図ります。
4. 今後の課題		・会報（滋賀だより）も見やすくなり改善が図れた。	・メールアドレス登録推進
		・女性懇親会・75歳セミナー65歳&70歳節目交流懇親会等従来通り開催できた。（今年度より70歳も対象）	・女性懇親会・75歳セミナー・65歳&70歳節目交流懇親本年度も継続開催
		・各同好会と支部役員が担当する連絡委員が連携し同好会活動・同好会入会支援が図れた。	・労働組合・共済会・P保険サービス等と連携し、新入会員の勧誘活動に取り組めます。
		・高齢化に伴い支部役員の後任不足。	・各種同好会と連絡委員が密に連携し、運営や活動面での支援に積極的に取り組めます。
		・年々減少する新入会員の入会促進の工夫が必要。	・あらゆる機会を通じ支部役員候補を確保する。
		・会員の高齢化により行事参加が減少傾向にあり今後の行事見直しが必要。	・会員の皆さんの高齢化や価値観の多様化に対応し、各行事の会場、開催時期、移動手段等を配慮したかたちで活動を目指していきます。

注) 提出期限 支部活動 ： 2025年3月3日（月）までに事務局（村瀬）へ提出願います

		2024年度 活動総括	2025年度 活動方針	
活動計画	1. 支部方針	会員相互の友愛を基軸に 健康長寿を目指し「つなげよう 仲間とともに あふれる笑顔」の方針のもと、松愛会会員の自主的な行動のもとに、あらゆる階層、地域、趣味。ｽﾎﾟｰﾂ等の会員ネットワークづくりを進めるとともに、健康長寿に向けた魅力ある行事・情報発信を進めた	会員相互の友愛を基軸に 健康長寿を目指し「つなげよう 仲間とともに あふれる笑顔」の方針のもと、松愛会会員の自主的な行動と、「 会員特性に応じた活動サービス 」を推し進め、あらゆる階層、地域、趣味、ｽﾎﾟｰﾂ等の会員ネットワークづくりを進めてまいります。また、「 楽しい、興味が沸く、見やすい 」を基本に魅力ある行事・情報発信を進めてまいります	
	2.	(1)支部大会(報告会)	松愛会の新たな50年に向け、京都支部大会を「からすま京都ホテル」で開催、今後3年間の運営方針を明確にした	松愛会の新たな50年に向け、京都支部大会を「からすま京都ホテル」で開催 今後3年間の運営方針を明確にしていく
		(2)各種懇親会・イベント	・新会員、節目対象者の(65,70,75歳対象)懇談会、また、地域を絞り込み気軽に参加できる地区懇談会の実施。 ◎	◎ ・これまでの懇親会を見直し、新会員と65歳対象の節目懇談会を統合、また70歳と75歳の節目対象者の懇談会を新シニア懇談会として開催。また、各エリアの懇談会を持ち回り年2回開催予定 ・「会員特性に応じた活動サービス」の観点で持ち回りから外れたエリアの親睦・交流を図る目的で各地区単位で定例の交流会等を設置
			・社会見学会・レクレーションとしてミニ・ツーリズム実施(第2回保津川下りと嵐山での食事と散策)	・ミニツーリズムの発足当初の「気軽に、身近に、参加できる」行事を考え、ミニツーリズムは 隔年開催 に変更 その代替として今年度「 支部サマー懇親会（会費制） 」を開催
		(3)会員情報収集活動	・友愛活動は1) 近況に変更があった会員の方より適宜情報提供をしていただき支部として対応を図るとともに、各行事の案内に友愛確認を実施。 2) 情報提供の手段を支部議案書に添え全員に郵送(メール・フォーム機能による回答を主に、電話・はがきで対応) また、会員との双方向コミュニケーションを図る	・友愛現況活動は近況に変更があった会員の方は適宜情報提供を自己申告していただき、支部として対応を図ってまいります。情報提供の手段を支部議案書に追加し、松愛会、支部への連絡方法、連絡先を記載し(電話・はがきの他、メール・フォーム機能の活用)、会員との双方向のコミュニケーションを図っていきます ・会員の個人情報については会員管理システムでの集中管理し、紙ベース管理を廃止
		(4)健康づくり	・健康づくり活動として「第3回ミニ・ウォークラリー」の継続、他支部へも初めてイベント情報発信 ◎ ・個人で行える仮想ウォークで健康づくりを提案	◎ ・ミニウォークラリーを継続(第4回は梅小路公園 10月開催予定)、京都支部ならびに近隣支部への案内検討 ・個人で行える仮想ウォークで健康づくり・体力づくりを継続
		(5)社会貢献活動	・京都・鴨川クリーンハイクへの参加推進と啓蒙・会員との交流の輪を広げた取り組み ・各行事に合わせの「AKARIアクション」コーナーの常設と活動の意義の啓蒙を図り、会員さまの協力収集を図る	・恒例の鴨川クリーンハイクへの参加推進と啓蒙 ・「AKARIアクション」活動の意義の発信と常時取り組みへの情報発信
		(6)広報活動	・魅力ある情報発信の継続推進と会員双方向の情報交換 フォーム機能の活用拡大	◎ ・ 支部HPの魅力ある情報発信の推進と会員双方向の情報交換ネットワーク新設(夢中人) ・本部HPへの活動内容掲載拡大（支部行事・同好会活動） ・情報セキュリティ、著作権の強化・徹底と広報・HPの見直し（楽しい、興味が沸く、見やすいHPづくり）
	(7)その他支部活動	・個人認証登録アップに向け、各行事毎に説明・推進 ・各種案内・申込、近況届け出・回答にフォーム機能を活用	・ライブセミナーの開催を見直し、今後、各種セミナーは個人募集による案内に変更 支部HP,支部だよりにて案内で行う	
	3. 同好会	・会員の高齢化、行動範囲の縮小による参加率・会員数が低下している（麻雀同好会が2025年3月末で廃部） 新たな同好会・愛好会等の発足・支援を検討	①同好会会長・世話役との懇談会を開催。支部と同好会との情報共有、コミュニケーションを図る ②新たな会員の入会促進のため、支部と同好会とのコラボ企画の開催検討 （平日参加できない会員のための週末開催やオープン参加等による参加促進・HPでの情報発信）	
4. 今後の課題	・会員の高齢化により各行事の参加率の減少、出席会員の固定化による新鮮味がない 若年会員の出席率を上げる取り組みが必要 ・活動費が減少するため、重点施行で活動費を配分 助成なし行事も検討	①中期的課題(2024～2026年) 1)「 会員特性に応じた活動サービス 」を推進し、会員の松愛会活動への意識を向上 2)広報・HPの強化（ 楽しい、興味が沸く、見やすいHPづくり 専門制による対応 ） 3)持続可能な支部体制づくり(支部運営の見直し、役員の負担軽減、行事活動の見直し統合を図る) ②短期的課題(2025年) ・広報・HPの強化（専門性の導入）、ITスキル向上のための勉強会開催、個人認証登録の推進 ・地区懇談会の持ち回り開催の継続と 地区単位での交流会の随時設置検討 ミニ・ツーリズムによるリクレーション活動の内容見直し		

注) 提出期限 ・支部活動 ： 2025年3月3日(月) までに事務局(村瀬) へ提出願います

支部名 京都南支部

2025年度 支部年度別運営計画書

支部長 熊野 公



		2024年度 活動総括	2025年度 活動方針
活動計画	1. 支部方針	中期方針「つなげよう 仲間とともに あふれる笑顔」を体し ・支部活動の原点である地区懇親会を全地区で実施 ・支部活動見直し「ヤングシニア懇親会」に「新会員歓迎会」を包含	中期方針 会員相互の友愛を基軸に 健康長寿を目指して「つなげよう 仲間とともに あふれる笑顔」を体し ・地区懇親会の全地区開催や各種懇親会を通じ、会員相互の交流と、地区に根ざした活動を推進 ・活動の見直し、統廃合などで予算の適正配分、支部役員の負担軽減を図る
	(1)支部大会(報告会)	「支部総会」として実施。参加64人（昨年差▲2人） 記念セミナー「自分の想いをかなえる財産の遺し方」講師：りそな銀行 セミナーのテーマで参加人数増を見込んだが予想よりも低調であった	2025年度も「支部総会」として開催するが、2026年度「支部報告会」への移行検討 2025年度はセミナーなどのイベントをなくし、開催時間を繰り下げ、より参加しやすい環境をつくる 総会（報告会）でのイベントのあり方再検討
	2. 重点活動・施策		
	(2)各種懇親会・イベント	「新春懇親会」参加112人（昨年差▲4人） 音楽バンド演奏の実施方法で課題を残した 「地区懇親会」全7地区実施 参加143人(昨年差▲56人) 「ヤングシニア懇親会」に「新会員歓迎会」を包含し支部全体で実施	「新春懇親会」音楽バンドの参加数を3バンドから2バンドに変更し進行をスムーズに 写真同好会作品展示PR方法の検討 ◎「地区懇親会」全地区実施 「ヤングシニア懇親会」は引き続き新会員歓迎も含めて開催し、若年層の活動参加を促す
	(3)会員情報収集活動	満80歳以上会員 365人を対象に手紙/電話/訪問で現況確認 「現況届」返送率64%⇒72%にアップ 残りは電話/訪問でフォロー	2025年度から本部による会員情報収集活動に一元化 本部で収集した情報の活用方法検討
	(4)健康づくり	各支部行事、竹林保全活動に健康体操を組み入れ活動を活性化 支部役員会時の健康体操、竹林保全活動前の準備体操など	◎新規活動 バーチャル「歩いて日本全国 国宝巡り&クイズで脳トレ 2025ー身体と脳を鍛えて目指せ100歳ー」 リアル行事への参加促進だけでなく、自宅からWebで参加できる活動を推進
	(5)社会貢献活動	①石清水八幡宮竹林整備活動の継続、他支部からの参加者増 PERJとの協業拡大 日曜日開催を増やした（1日⇒4日） ②プルタブ回収で14台目の車いすを八幡市に寄贈 15台目継続中	◎①石清水八幡宮竹林整備活動の充実、強化を図る 引き続きPERJとの協業を行う（日曜日開催継続） ②プルタブ回収で車いす15台目を京田辺市に寄贈予定（6月頃）
	(6)広報活動	①支部だより6回発行 写真を増やしより見やすい支部だよりにした ②支部HPは、自由投稿ページのコンテンツ拡充⇒閲覧数アップ（前年比103%）	①支部だより4頁、5回発行。記事配置を工夫、写真掲載増で、より見やすく親しみのある支部だよりを目指す ②支部HPの支部役員自己紹介ページ更新と自由投稿ページへのリンク、コンテンツ拡充などで閲覧数アップを目指す
	(7)その他支部活動	①「女性会員懇談会」継続 ②74歳対象セミナー「後期高齢者になる前に」を継続開催 好評	①「女性会員懇談会」継続 「おこしバス」利用も検討 ②74歳対象セミナー「後期高齢者になる前に」継続
	3. 同好会	①新春懇親会への参加（音楽3同好会、カラオケ同好会、写真同好会） ②引き続き9同好会で活動継続中 麻雀同好会は会長交代	①同好会活動支援金を継続支給し、活動をサポートする。 ②HPへの投稿充実⇒各同好会メンバーで投稿できるようにサポートする ③音楽3バンドの他支部へのPR
	4. 今後の課題	①参加者数減及び固定化打破へのアイデア出し ②支部活動の見直し、支部役員後継者発掘	①次期支部役員候補発掘⇒最重点課題 ②引き続き支部予算に見合った活動の見直しを行う

注）提出期限 ・支部活動 ： 2025年3月3日（月）までに事務局（村瀬）へ提出願います